

ニュース

地域と企業の新たな取り組み

有明事業所に国内最大級の1200トンクレーン 生産効率アップで競争力強化



▲1号ドック(620m)に据え付けられた1号機。8月に右の2号ドック(420m)にも設置する

▶クレーンはレール上を移動。地上で組み立てた船のブロックを運ぶ



高さ約81mの1200トン吊りゴライアスクレーン。幅は約123m。クレーンには社員に公募した標語「有明から世界の海へ!」の文字が。同クレーンを含めた生産設備増強の投資額は100億円

ユニバーサル造船

世界的な経済の冷え込みや円高による市況低迷と、韓国や中国の造船メーカーの台頭で受注競争が激化する中、同クレーンの導入で生産効率アップを図るのが最大の狙い。既設の700トンゴライアスクレーンと合わせた4基体制で、建造能力は従来年間6隻から同8.5隻に向上するという。同社は今年10月1日に国内造船大手の(株)アイ・エイチ・アイマリンユナイテッドと経営統合、社名も新たに再スタートする。新会社では統合のスケールメリットを生かし開発力や調達力を高め、温室効果ガス削減や燃費性能に優れた省エネ船の開発などで新たな市場を開拓していく方針だ。新型クレーンが大競争時代を勝ち抜く切り札となるか、期待は大きい。

30万トン級大型タンカー(VLCC)などを建造するユニバーサル造船(株)有明事業所(長洲町有明)に、国内最大級となる1200トンの揚重能力を持つゴライアスクレーンが、このほどお目見えした。今年8月上旬に残る1基を据え付け、9月中旬にも国内初の2基体制で稼働を始める予定だ。

えびの工場にペットボトル充填ラインを増設 生産目標は年間800万ケース



多くの関係者が見守る中、起動したペットボトル飲料無菌充填ライン

南九州コカ・コーラボトリング



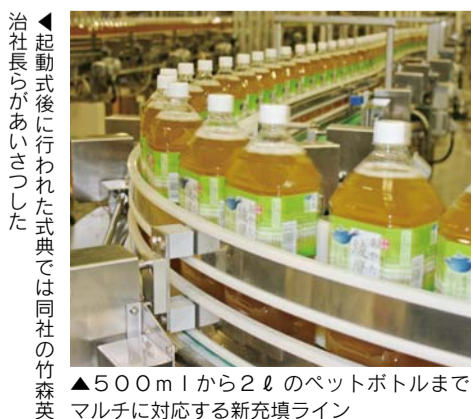
▲関係者が集い行われた起動式

南九州コカ・コーラボトリング(株) (熊本市南区南高江3丁目) は、関連工場の南九州コカ・コーラプロダクツ(株) (えびの市東川北) のえびの工場にペットボトル飲料無菌充填ラインを新設、5月11日に竣工式を開いた。

多様化する商品の生産受注に対応すると共に、生産効率の向上などを目的に昨年7月から増設工事を進めていたもの。投資額は62億5千万円。建物は鉄骨造り一部3階建て、延べ床面積約9512㎡。同工場の生産ラインとしては3つ目で、大型・小型ペットボトル製品製造の無菌充填マルチラインとして新設。一つのラインで炭酸飲料、茶系飲料、スポーツ飲料、天然水などのペットボトル飲料製造に対応し、500ml、2ℓまで同じラインで生産できるのが特徴。同ラインの生産目標は年間約800万ケース。同日の竣工式で同社の竹森英治社長は「生産効率の向上などを目的に新ラインを増設した。いいものを効率よく生産すると共に地域に開かれた工場を目指していきたい」とあいさつした。



えびの工場 3号ライン竣工式



▲起動式後に行われた式典では同社の竹森英治社長があいさつした

▲500mlから2ℓのペットボトルまでマルチに対応する新充填ライン